

## 令和2年度 国語科 授業改善推進プラン

大田区立多摩川小学校

### 1 昨年度の授業改善推進プランの検証

#### (1) 成果

- ・発表の場を多く設定したことで、自分が感じたことや考えたことをすすんで友達に伝えられる児童が増えた。高学年は、自分の考えと比べながら相手の話を聞くことで、話し合いが深まるような質問や意見が出るようになった。
- ・相手意識や目的意識をもって作文を書かせることで、意欲的に取り組むようになった。低学年では順序に気を付けながら、中学年は事柄を整理しながら、高学年では自分の考えが伝わるように論理的に表現しながら書く児童が増えてきた。
- ・物語文では、叙述を基に登場人物の心情を読み取ることができるようになってきている。
- ・家庭学習で新出漢字の学習を徹底した。一文字ずつではなく、熟語として覚えたり、自分の苦手なところを何度も繰り返したりするなど、個々にあった学習方法を取り入れるようにした。

#### (2) 課題

- ・大事なことを落とさずに聞くことができていないことや、最後まで聞かずに自分の判断で行動してしまうことが目立つ。
- ・漢字の読み書きの定着に個人差がある。
- ・全体的に語彙力の少なさに課題が残る。低学年から、促音・拗音、助詞の使い方の定着を図ることが必要である。

### 2 大田区学習効果測定の結果分析

#### (1) 達成率（経年比較）

	令和2年度結果	令和元年度結果	平成30年度結果
第4学年	全ての項目で目標値を上回った。中でも、書く項目は目標値より7ポイント上回った。	/	/
第5学年	全ての項目で目標値を上回った。中でも、読む項目は目標値より11ポイント上回り、書く項目も上回った。	おおむね目標値を上回っているが、書く項目は目標値より6ポイント下回った。	/
第6学年	全ての項目で目標値を上回った。読む項目以外は、どれも7ポイント以上、上回った。	全ての項目で目標値を上回った。中でも、読む項目は目標値より5ポイント上回った。	全ての項目で目標値を上回った。中でも、読む項目は目標値より8ポイント上回った。

(2) 分析 (観点別)

① 中学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
目標値より上回ってはいるが、漢字を書く項目や言葉の項目は、他と比べてやや低い。	段落構成を意識し、自分の意見とその理由を区別して書くことができている。	目標値よりも5ポイント高い。学習に意欲的に取り組んでいる児童が多い。

② 高学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
目標値より大きく上回っているが、漢字の書き取りは苦手傾向にある。5年の漢字の書き取りで、「改める」の正答率が低かった。	目標値より大きく上回っているが、5年は「自分の意見とその理由を書く」、6年は「段落のまとまりを考えて読む」がやや低かった。	目標値よりも上回っている。5年は2ポイント、6年は7ポイント高い。

3 授業改善のポイント (観点別)

(1) 低学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"><li>自分が感じたことや考えたことを順序よく話せるようにするために、事柄の中心をはっきりさせる。また、大事なことを落とさないで聞けるように、話の聞き方の基本(具体的項目)を意識させ、繰り返し指導していく。</li><li>新しく習った文字や漢字の字形や筆順の指導を徹底し、読み書きの定着を図る。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>書く事柄を順序立てて書けるようにする。</li><li>書かれていることの順序や場面の様子などに注意して、想像を広げながら読むことに取り組む。</li><li>友達との交流を通して、読み取りの力も育てていく。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>児童が興味・関心をもつような授業の導入、教材開発を行っていく。</li><li>毎週、図書室で読書をする時間を確保する。また、教師による読み聞かせを行い、読書に親しませる。</li></ul>

(2) 中学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"><li>新出、既習漢字の反復練習と小テストを通して、漢字の書き取りの定着を図る。</li><li>国語辞典や漢字辞典を活用して、語彙を習得させていく。</li><li>他教科でも、パソコンの文字入力などでローマ字を活用し、慣れ親しみながら習得させていく。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>自分の考えを分かりやすく話すために、理由や事例などを挙げながら筋道を立てて話せるように指導する。また、話の中心に気を付けて話したり聞いたりすることを意識させる。</li><li>話し合いの時間を多く設け、互いの意見を交流し、考えを深めていけるようにする。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>教材開発や授業での発問の工夫を行い、分かる楽しさを味わうことのできる工夫を行っていく。</li><li>学年相応の図書を推薦したり、読書の時間を十分確保したりして、楽しみながら読む力を身に付けさせる。</li></ul>

(3) 高学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"><li>・新出、既習漢字のくり返し学習と小テストを通して、漢字の書き取りの定着を図る。</li><li>・家庭学習では、一文字ずつではなく、熟語として覚えたり、自分の苦手なところを何度も繰り返したりするなど、個々にあった学習方法を取り入れていく。</li><li>・国語辞典を活用したり、すすんで読書をしたりして、語彙を習得させていく。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・友達の考えと自分の考えを比べながら聞き、話し合いが深まるような質問や意見が出るよう意図的に働きかける。</li><li>・資料と文章を関連付けながら読むことを指導する。小見出しを付けるなどして文章全体の構成や要旨をつかめるようにする。</li><li>・物語文は、登場人物の心情を叙述から読み取るようにする。優れた言葉や文に触れ、語彙力を高めさせていく。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・教材開発や授業での発問の工夫を行い、分かる楽しさを味わうことのできる工夫を行っていく。</li><li>・学年相応の図書を推薦したり、他教科での学習に関連する本を紹介したりするなどして、読書の習慣を身に付けさせる。</li></ul>

## 令和2年度 社会科 授業改善推進プラン

大田区立多摩川小学校

### 1 昨年度の授業改善推進プランの検証

#### (1) 成果

- ・フラッシュカード等を使用することにより地図記号や都道府県に興味をもたせることができ、楽しく学習を進められた。
- ・資料から事実を読み取り、その事実から自分の考えを繰り返し書かせたり、発表させたりする練習を授業の中で取り入れた結果、事象の理由や自身の考察について、表現する力が付いてきている。
- ・ほかの地域や国との関わりを歴史の学習の中でおさえることによって、他国とのつながりが理解できる児童が増えた。

#### (2) 課題

- ・資料を比べたり、そこから分かることを考えたりする力が十分に定着していない。
- ・他の地域や国との関わりを身近なものとしてとらえることができていない。
- ・社会で学習したことに対する自分の考えや主張をもつことが難しい児童が多い。

### 2 大田区学習効果測定の結果分析

#### (1) 達成率（経年比較）

	令和2年度結果	令和元年度結果	平成30年度結果
第4学年	全体としては目標値を1ポイント上回った。基礎・活用別では、基礎は2ポイント上回り、活用は2ポイント下回った。	/	/
第5学年	全体としては目標値を7ポイント上回った。基礎・活用別では、基礎は7ポイント上回り、活用は5ポイント上回った。	全体としては目標値を1ポイント下回った。基礎・活用別では、ほぼ目標値と同じ数値であった。(第4学年時)	/
第6学年	全体としては目標値を3ポイント上回った。基礎・活用別では、基礎は3ポイント上回り、活用は5ポイント上回った。	全体としては目標値を2ポイント上回った。基礎・活用別では、基礎は2ポイント上回り、活用は1ポイント上回った。(第5学年時)	全体としては目標値を1ポイント上回った。基礎・活用別では、ほぼ目標値と同じ数値であった。(第4学年時)

#### (2) 分析（観点別）

##### ① 中学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
知識は目標値より1ポイント上回ったが、技能は2ポイント下回っている。	目標値とほぼ同じ数値であった。	目標値より1ポイント下回った。

② 高学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
5年生は、目標値より知識は7ポイント上回り、技能も7ポイント上回った。 6年生は、目標値より知識は2ポイント上回り、技能は4ポイント上回った。	5年生は、目標値より7ポイント上回った。 6年生は、目標値より6ポイント上回った。	5年生は、目標値より4ポイント上回った。 6年生は、目標値より2ポイント上回った。

3 授業改善のポイント（観点別）

(1) 低学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
/	/	/

(2) 中学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
副読本や地図帳、絵地図を様々な場面で活用する。また、自分で必要な情報を探し出せるよう指導していく。	資料からわかることを話し合ったり、ノートにまとめたりすることに力を入れる。また、単元のまとめ方を新聞だけでなく、パンフレットやすごろくなど多様な方法で行う。	校外学習や見学などの体験的活動をすることが望ましい。しかし、コロナ禍でもあり、それに代わる方法（道具を貸してもらおう、動画を撮影させてもらう等）を考えていく。

(3) 高学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
教科書や地図帳、資料集を様々な場面で活用する。また、調べたことを以前学習したこととつなげられるよう、印を付けておくようにさせる。	資料を比較・総合してわかったことを話し合ったり、ノートにまとめたりすることに力を入れる。また、学習したことをまとめる際に、教科書・地図帳・資料集などから自分の伝えたいことを表す資料を選べるように指導する。	他の地域や国との関わりを身近なものとしてとらえるために、オリンピックやニュースの話題も取り上げるようにする。

## 令和2年度 算数科 授業改善推進プラン

大田区立多摩川小学校

### 1 昨年度の授業改善推進プランの検証

#### (1) 成果

- ・ 進度や指導方法について、その都度情報を交換し個々の児童の習熟についても確認することができた。
- ・ 個に応じた指導の時間を確保することができた。

#### (2) 課題

- ・ 少人数指導の展開の仕方についてさらに検討を重ね充実させていく。
- ・ コースごとの実態に応じた課題を検討し、設定していく。

### 2 大田区学習効果測定の結果分析

#### (1) 達成率（経年比較）    △=上昇    ▼=下降

	令和2年度結果	令和元年度結果	平成30年度結果
第4学年	図形▼他の領域△ 関心意欲が高い数値。 記述による回答が、区や 全国を大きく上回る。	/	/
第5学年	どの領域も区や全国を 上回る。観点別を見ても すべて上回る。	全体的に標準を下回る。  (第4学年時)	/
第6学年	基礎基本▼観点別では、 すべての領域で▼特に 図形、数量関係が区や全 国を下回る。技能・関心 意欲も全国より下回る。	標準並み。  (第5学年時)	標準を上回る。  (第4学年時)

#### (2) 分析（観点別）

##### ① 中学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
全体的には標準を上回っているが、図形領域では全国、区と比較して低い数値を示している。作図の技能や量感をとらえる力を伸ばすような指導が必要と考える。	他の観点に比べ、考え方については低い数値を示している。意欲も知識も良好であるが、自分の考えを整理し表現すること、説明することが苦手である。	意欲関心は区や全国と比較してもかなり高い数値を示している。具体的な操作や作業、ペアやグループでの活動など様々な学習方法、また教材・教具を工夫してきた成果と考える。

## ② 高学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
数量や図形が標準を下回っている。概念形成のために、図形に親しみ作図や測定等の作業が足りていない。	問題場面を把握し、図に表して捉えることが難しい。また、生活場面と算数を関連させ、問題解決することができていない。	算数の学習自体に困難さを感じている児童が多い。だが、自分からは取り組むことができない。

## 3 授業改善のポイント（観点別）

### (1) 低学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> <li>文章題では「わかっていること」「求めること」を明確にすることができるよう、指導をさらに続けていく。</li> <li>具体物や半具体物を操作したり、絵や図に表したりして、問題場面を把握しやすくするようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分の考えを説明したり、友達の考えを聞いて考えたりする場面を設定する。</li> <li>計算の仕方や方法を児童に考えさせ説明することを通して、思考力や表現力を高め、理解を深めていく。</li> <li>児童の発言に対し問い返しをすることで、自分の考えを振り返ったり整理したりさせ、理解を深めるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学習の振り返りをノートに書き、それを教師が評価し励ますことで次時への意欲を喚起し、学ぶことの楽しさに気付かせる。</li> <li>様々な教材を用いたり学習方法を工夫したりすることで、学ぶ楽しさを味わうことができる学習を展開する。</li> </ul>

### (2) 中学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> <li>図形に親しむ活動を多く取り入れたり、作図や測定等の作業を増やしたりするなどして技能を高め、理解を深めるようにする。</li> <li>小数、分数の大小ついて具体物を操作するなどして量感を養うようにする。</li> <li>ステップアップ学習などを活用し、定着状況を把握しながらすすめる。必要に応じて学習カウンセリングを行い、学習の定着を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>既習事項と関連付けて考えさせ、見通しをもち解決をすすめる指導を展開していく。</li> <li>自分の考えを説明したり、友達と検討したりする場を多く設定し、思考力や表現力を高め、理解を深めていく。</li> <li>児童の発言に対し問い返しをすることで、自分の考えを振り返ったり整理したりして、理解を深めるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>コースごとの実態に合わせた課題を設定したり、学習方法や教材を工夫したりすることで、学ぶ楽しさや分かることのうれしさが味わえるようにする。</li> <li>学習の振り返り（学習感想）をし、それを教師が評価し励ますことで、次時への意欲を喚起し学ぶ楽しさを味わうことができるようにする。</li> </ul>

(3) 高学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"><li>・ 単元ごとに全学年に立ち戻った練習をしたり既習事項と関連付けて考えたりする場を設定する。</li><li>・ ステップアップ学習等を活用し基礎基本の定着を図る。</li><li>・ 作図や測定の作業の場を設定し、図形に親しみ学ぶことができるようにする。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 既習事項を活用して課題を解決できるよう、見通しをもつ場を設定する。</li><li>・ 自分の考えを説明したり、友達の考えを自分の考えと比べながら聞いたりするなど、目的に応じてペアやグループ活動を効果的に取り入れるようにする。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・ コースごとの実態に合わせた課題を設定したり、学習方法や教材を工夫したりすることで、学ぶ楽しさや分かることのうれしさを味わうことができるようにする。</li><li>・ 学習を振り返り（学習感想）、それを教師が評価し励ますことで、次時への意欲を喚起し学ぶ楽しさを味わえるようにする。</li></ul>



## 令和2年度 理科 授業改善推進プラン

大田区立多摩川小学校

### 1 昨年度の授業改善推進プランの検証

#### (1) 成果

- ・ 理科に対する興味・関心が高まった。
- ・ 自分の経験や既習事項をもとに予想を立てて実験に取り組む児童が増えた。

#### (2) 課題

- ・ 結果から考察し、結論を導き出すことが苦手である。
- ・ 自分の考えを表現するスキル（言葉、図など）が育っていない。
- ・ 植物との関わりが不足していることから、自然事象への関心及び知識理解が乏しい。
- ・ 実験・観察器具の扱い方が定着していない。

### 2 大田区学習効果測定の結果分析

#### (1) 達成率（経年比較）

	令和2年度結果	令和元年度結果	平成30年度結果
第4学年	全ての項目で目標値を下回った。中でも植物の育ち方の項目は目標値より10ポイント下回った。	/	/
第5学年	平均正答率が目標値を6ポイント下回った。電気の働きは8ポイント下回った。	おおむね目標値を上回っているが、自然現象に関わる項目は4ポイント下回った。	/
第6学年	全ての項目で目標値を上回った。植物の発芽と成長については、中でも9ポイント上回ったが、顕微鏡については、5ポイント下回った。	全ての項目で目標値を下回った。中でも、観察技能の項目は目標値より5ポイント下回った。	全ての項目で目標値を下回った。中でも、自然事象の理解と知識、関心の項目は目標値より5ポイント下回った。

#### (2) 分析（観点別）

##### ① 中学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
目標値より知識は5ポイント、技能は3ポイント下回っている。	目標値より2ポイント下回っている。過去3年間の数値を比較すると、著しく落ち込んでいることが分かる。	目標値より4ポイント下回っている。平成30年度、令和元年度に比べ著しく、ポイントが落ち込んでいる。

② 高学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
5年生は目標値に対し、知識理解が5ポイント、技能については目標値とほぼ同じ数値を示している。 6年生は目標値とほぼ同じ数値である。	5年生はわずかだが目標値を上回った。 6年生も同じく目標値を2ポイント上回っている。	5年生は目標値を4ポイント下回っている。 6年生は目標値とほぼ同じ数値である。 目標値に対し、年々下がっている傾向が見られる。

3 授業改善のポイント（観点別）

(1) 低学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
/	/	/

(2) 中学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
植物の観察や昆虫の育ち方といった生命に関する単元の数値が特に低いことが分かる。植物の観察や昆虫の飼育といった活動を1年間通して行い、生物の生育環境や体のつくりへ理解を深めていきたい。また、観察や実験する機会を通し、理科の実験器具の使い方や自然事象などについて知識を深めていきたい。	実験や観察の際、事象についての予想をたて、実験に取り組むとともに、結果、考察を通し結論を導き出せるように指導する。3年生は比較すること、4年生は物事に関連付けて考えることに取り組めるよう指導する。	児童が様々な事象に関心をもち意欲的に取り組むために、実験や観察活動の充実を図る。 生命、地球の項目など、観察が難しい単元では映像や師範実験を通して理解を深めていく。

(3) 高学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
実験や観察結果から、知識を得ていくことが課題と考えられる。実験や観察が体験的に行われないように指導をすすめる中で、必要な知識を押さえていく。また理科の実験器具の使い方について、指導の中で適切な使用方を定着させる。	実験や観察の際、事象について予想をたて、実験に取り組むとともに、5年生は条件制御、6年生は物事を多面的に考えることに取り組めるよう指導する。	児童が様々な事象に関心をもち意欲的に取り組むために、実験や観察活動の充実を図る。既習の内容や生活経験から児童が主体的に問題解決に取り組む意欲をもてるように、学習指導の導入時の工夫や師範実験を取り入れていく。

## 令和2年度 生活科 授業改善推進プラン

大田区立多摩川小学校

### 1 昨年度の授業改善推進プランの検証

#### (1) 成果

- ・一人一つの植木鉢で責任をもって植物を育てる経験は、意欲的に取り組むことができた。
- ・学級園で計画的に様々な植物を育て、その変化に気付くことができた。
- ・多摩川河川敷での活動では、見つけた植物や生き物を自ら観察したり、調べたりすることができた。

#### (2) 課題

- ・1,2年生の交流は、コロナ禍のため充分にはできなかった。交流や発表の機会をどのように設定していくかは課題である。
- ・学びを生かし、身近な人々、社会及び自然に、自ら働きかけようとする児童が少ない。

### 2 大田区学習効果測定の結果分析

#### (1) 達成率（経年比較）

	令和2年度結果	令和元年度結果	平成30年度結果
第4学年	生活科は実施せず	/	/
第5学年	生活科は実施せず	生活科は実施せず (第4学年時)	/
第6学年	生活科は実施せず	生活科は実施せず (第5学年時)	生活科は実施せず (第4学年時)

#### (2) 分析（観点別）

##### ① 中学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
生活科は実施せず	生活科は実施せず	生活科は実施せず

##### ② 高学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
生活科は実施せず	生活科は実施せず	生活科は実施せず

### 3 授業改善のポイント（観点別）

#### (1) 低学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> <li>・活動や体験を通して、自分自身、身近な人々、社会及び自然の特徴やよさ、それらの関わりに気付けるようにする。</li> <li>・地域や校内環境を十分に生かし、生活上必要な習慣や技能を身に付けることができるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・身近な人々、社会及び自然と関わる機会を多くつくり、自分とどのような関係があるのか意識できるようにする。</li> <li>・自分自身の生活について考え、表現できるように、適切な助言をする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・身近な人々、社会及び自然に、自分から接近できるように、思いや願いをもって活動できるようにする。</li> <li>・自分から働きかけたことによる満足感や達成感を味わい、自分のよさや可能性に気付けるよう、適切な課題設定をする。</li> </ul>

#### (2) 中学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度

#### (3) 高学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度

## 令和2年度 音楽科 授業改善推進プラン

大田区立多摩川小学校

### 1 昨年度の授業改善推進プランの検証

#### (1) 成果

- ・どの学年も音楽活動全般に意欲的に取り組んでいた。
- ・日頃の学習の成果を音楽朝会で発表することで、音楽を創り上げる喜びや達成感、充実感を味わわせることができた。
- ・児童の実態に合った教材の設定や様々な学習形態を取り入れることで、個人の基礎的スキルや鑑賞能力の定着を図ることができた。

#### (2) 課題

- ・器楽におけるスキルの習得には、個人差がある。
- ・スキルが定着していても、曲想にふさわしい豊かな音楽表現ができる児童は少なく、自信がもてない様子も見られる。

### 2 大田区学習効果測定の結果分析

#### (1) 達成率（経年比較）

	令和2年度結果	令和元年度結果	平成30年度結果
第4学年	音楽科は実施せず	/	/
第5学年	音楽科は実施せず	音楽科は実施せず (第4学年時)	/
第6学年	音楽科は実施せず	音楽科は実施せず (第5学年時)	音楽科は実施せず (第4学年時)

#### (2) 分析（観点別）

##### ① 中学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
音楽科は実施せず	音楽科は実施せず	音楽科は実施せず

##### ② 高学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
音楽科は実施せず	音楽科は実施せず	音楽科は実施せず

### 3 授業改善のポイント（観点別）

#### (1) 低学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> <li>・歌唱、器楽、音楽づくりの各技能を身に付けるために、個人の習得状況を把握した上で、継続的な取り組みやペア学習、必要に応じた個別指導などを取り入れ、習熟度を高めていく。</li> <li>・曲の感じや音楽の要素に気付かせるために、常時活動での反復練習やICT機器の効果的活用、また、既習事項との関連付けをさせることで知識の習得を深める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・歌唱、器楽、音楽づくりの各活動を通して、どのように表現するかについて思いをもつために、情景を想像したり楽曲の気分を感じ取ったりできるようにする。</li> <li>・曲や演奏の楽しさや美しさを味わって聴くために、身体の動きを取り入れる活動や、感じたことを言葉で表現することに慣れるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・楽しく音楽活動に取り組むために、発達段階や児童の実態に合った魅力的な教材の設定や、学習の成果を発表したり互いのよさを認め合ったりする活動を取り入れる。</li> <li>・友達と協働して音楽を創り上げる達成感や充実感を味わえるようにする。</li> </ul>

#### (2) 中学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> <li>・歌唱、器楽、音楽づくりの各技能を身に付けるために、個人の習得状況を把握した上で、継続的な取り組みや、ペアやグループ学習、必要に応じた個別指導などを取り入れ、習熟度を高めていく。</li> <li>・曲の特徴や音楽の要素を理解させるために、常時活動での反復練習やICT機器の効果的活用、また、既習事項との関連付けや対比をさせることで知識の習得を深める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・歌唱、器楽、音楽づくりの各活動を通して、どのように表現するかについて思いや意図をもつために、歌詞の内容や曲想に加え、音楽を形づくる要素を感じ取ることで表現に生かせるようにする。</li> <li>・曲や演奏のよさを見だし味わって鑑賞するために、視点を明確にして音楽の要素や構造に気付かせ、その上で自分の考えや感じたことを身体や言葉で表現できるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・すすんで音楽活動に取り組むために、発達段階や児童の実態に合った魅力的な教材の設定や、学習の成果を発表したり互いのよさを認め合ったりする活動を取り入れる。</li> <li>・友達と協働して音楽を創り上げる達成感や充実感を味わえるようにする。</li> </ul>

(3) 高学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"><li>・歌唱、器楽、音楽づくりの各技能を身に付けるために、個人の習得状況を把握した上で、継続的な取り組みや、ペアやグループ学習、必要に応じた個別指導などを取り入れ、習熟度を高めていく。</li><li>・曲の雰囲気や特徴、音楽の要素を理解させるために、常時活動での反復練習やICT機器の効果的活用、また、既習事項との関連付けや対比をさせることで知識の習得を深める。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・歌唱、器楽、音楽づくりの各活動を通して、どのように表現するかについて思いや意図をもつために、歌詞の内容や曲想に加え、音楽を形づくる要素を感じ取ることで表現に生かせるようにする。</li><li>・曲や演奏のよさを見だし味わって鑑賞するために、視点を明確にして音楽の要素や構造に気付かせ、その上で自分の考えや感じたことを身体や言葉で表現できるようにする。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・主体的に音楽活動に取り組むために、発達段階や児童の実態に合った魅力的な教材の設定や、学習の成果を発表したり互いのよさを認め合ったりする活動を取り入れる。</li><li>・友達と協働して音楽を創り上げる達成感や充実感を味わえるようにする。</li></ul>

## 令和2年度 図画工作科 授業改善推進プラン

大田区立多摩川小学校

### 1 昨年度の授業改善推進プランの検証

#### (1) 成果

- ・どの学年の児童も、意欲的に活動する児童が多い。
- ・様々な材料や表現方法を経験し、自分なりの表現方法を模索しながら選び取っている。
- ・友達の作品の良いところを見付けたり、良さを認め合ったりする様子が見られる。

#### (2) 課題

- ・学習に必要な持ち物の忘れ物が多い。
- ・自分の表現に自信をもてない児童も数名見られる。

### 2 大田区学習効果測定の結果分析

#### (1) 達成率（経年比較）

	令和2年度結果	令和元年度結果	平成30年度結果
第4学年	図画工作科は実施せず	/	/
第5学年	図画工作科は実施せず	図画工作科は実施せず (第4学年時)	/
第6学年	図画工作科は実施せず	図画工作科は実施せず (第5学年時)	図画工作科は実施せず (第4学年時)

#### (2) 分析（観点別）

##### ① 中学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
図画工作科は実施せず	図画工作科は実施せず	図画工作科は実施せず

##### ② 高学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
図画工作科は実施せず	図画工作科は実施せず	図画工作科は実施せず



### 3 授業改善のポイント（観点別）

#### （1）低学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> <li>・造形遊びや絵や立体、工作に表す活動を通して、形や色などに気付き、表し方を工夫して表すことができるようにする。</li> <li>・身近な材料や用具を安全に配慮しながら、十分に慣れるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・造形遊びや絵や立体、工作に表す活動を通して、楽しく発想や構想をしたり、身の回りの作品から自分の見方や感じ方を広げたりできるようにする。</li> <li>・何を表したらよいか困っている児童に、個別に適切な助言をする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・楽しく表現したり鑑賞したりする活動を通して、つくりだす喜びを味わえるようにする。</li> <li>・互いの作品を鑑賞させ、友達の作品のよさを認め合える時間を設定する。</li> </ul>

#### （2）中学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> <li>・造形遊びや絵や立体、工作に表す活動を通して、形や色などに分かり、表し方を工夫して表すことができるようにする。</li> <li>・身近な材料や用具を安全に配慮しながら、適切に扱えるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・造形遊びや絵や立体、工作に表す活動を通して、豊かに発想や構想をしたり、身近にある作品から自分の見方や感じ方を広げたりできるようにする。</li> <li>・何を表したらよいか困っている児童に、個別に適切な助言をする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・すすんで表現したり鑑賞したりする活動を通して、つくりだす喜びを味わえるようにする。</li> <li>・互いの作品を鑑賞させ、友達の作品のよさを認め合える時間を設定する。</li> </ul>

#### （3）高学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> <li>・造形遊びや絵や立体、工作に表す活動を通して、形や色などの造形的な特徴を理解し、表し方を工夫して表すことができるようにする。</li> <li>・身近な材料や用具を安全に配慮しながら、活用できるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・造形遊びや絵や立体、工作に表す活動を通して、創造的に発想や構想をしたり、親しみのある作品から自分の見方や感じ方を広げたりできるようにする。</li> <li>・何を表したらよいか困っている児童に、個別に適切な助言をする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・主体的に表現したり鑑賞したりする活動を通して、つくりだす喜びを味わえるようにする。</li> <li>・互いの作品を鑑賞させ、友達の作品や美術作品のよさや美しさを認め合える時間を設定する。</li> </ul>

## 令和2年度 家庭科 授業改善推進プラン

大田区立多摩川小学校

### 1 昨年度の授業改善推進プランの検証

#### (1) 成果

- ・学習のめあてを全体で共有し、見通しをもって活動を進めることで、意欲的に学習に取り組んでいる。
- ・身近な課題を提示し、課題についてグループでの検討機会を設けることで、学習課題について主体的に考えるようになった。
- ・ICTを活用することで、細かい技能を視覚的に捉えることができ、技能の習得につながった。

#### (2) 課題

- ・手縫いやミシン縫いの作業については個人差が大きい。個に応じた指導を行う必要がある。
- ・技能にかかわる大切な用語などは、ICTと言葉を関連させながら捉えさせ、ICTの活用に頼りすぎることなく、実態に応じて効果的に使用する。
- ・環境のことを配慮した製作の仕方や片付け方など、学んだことを実践に生かそうとする態度を育てる。

### 2 大田区学習効果測定の結果分析

#### (1) 達成率（経年比較）

	令和2年度結果	令和元年度結果	平成30年度結果
第5学年	家庭科は実施せず		
第6学年	家庭科は実施せず	家庭科は実施せず (第5学年時)	

#### (2) 分析（観点別）

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
家庭科は実施せず	家庭科は実施せず	家庭科は実施せず

### 3 授業改善のポイント（観点別）

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> <li>・観察や実験、実習を通して、実感を伴って理解できるようにする。</li> <li>・既習の内容を関連付けて考えたり、それを活用したりしながら、必要となる知識や技能が習得できるようにする。</li> <li>・基本的な技能は、ICTを活用し細かく捉えさせ、全体で意見を出し合いながら、適切な方法を見いだせるようにする。</li> <li>・中学校への系統性を考慮しながら、題材の設定を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日常生活の中から課題を見だし、課題を設定することで、自分のこととして課題をとらえ解決に向けて考えを深めていけるようにする。</li> <li>・課題を解決するための方法として、なぜその方法を選んだのか根拠をもって考え、それを互いに伝え合う活動を行う。</li> <li>・既習の経験から、製作や調理の手順を予測しながら全体で確認し、準備から片付けまで見通しをもって活動できるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・必要な知識や技能を身に付けていく過程では、児童の実態に応じ、段階的に課題や題材を設定し、達成感が味わえるようにする。その経験を繰り返していくことで最後まで根気強く取り組もうとする態度を育てる。</li> <li>・グループでの活動では、協力したり、教え合ったり、助け合ったりしながら、自分ができることを自ら考えて活動できるようにする。</li> </ul>

## 令和2年度 体育科 授業改善推進プラン

大田区立多摩川小学校

### 1 昨年度の授業改善推進プランの検証

#### (1) 成果

- ・持久走大会の練習をすることにより、体力向上につながっている。
- ・運動の得意、不得意がはっきりしているが、不得意な児童でも参加し、活躍できるようルールを設定し工夫して行っている。そのため、ボール運動では不得意な児童もボールに触れ、参加できている。

#### (2) 課題

- ・取り組む運動が偏り、経験の足りない運動や遊びが多い。学年相応の体力や、運動能力がっていない児童が多い。休み時間や体育の学習でいろいろな動きを経験させていく必要がある。
- ・運動が得意な児童は意欲的に運動に取り組み、苦手な児童は積極的に取り組めず、運動能力の差が開いている。

### 2 大田区学習効果測定の結果分析

#### (1) 達成率（経年比較）

	令和2年度結果	令和元年度結果	平成30年度結果
第4学年	体育科は実施せず	/	/
第5学年	体育科は実施せず	体育科は実施せず (第4学年時)	/
第6学年	体育科は実施せず	体育科は実施せず (第5学年時)	体育科は実施せず (第4学年時)

#### (2) 分析（観点別）

##### ① 中学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
体育科は実施せず	体育科は実施せず	体育科は実施せず

##### ② 高学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
体育科は実施せず	体育科は実施せず	体育科は実施せず

### 3 授業改善のポイント（観点別）

#### （1）低学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>・走の運動遊びでは、走る楽しさに触れ、走る動きを身に付けることができるように、いろいろな方向に走ったり、いろいろな間隔に並べられた低い障害物を越えたりできるように場を設定して取り組ませる。</p>	<p>・遊び方を工夫して考え、考えたことを友達に伝えることができるようにする。</p> <p>・教員がタブレットで動画を撮り、課題解決のために学級全体で良いところや改善点を考え、伝えることができるようにする。</p>	<p>・運動遊びにすすんで取り組むことができるように、成功回数が多くなる簡単な運動遊びを取り入れたり、できたことを称賛したりする。</p>

#### （2）中学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>・走の運動では、走る楽しさや喜びに触れ、基本的な動きを身に付けられるように、いろいろな距離でのかけっこやいろいろな姿勢でのスタート等での運動を取り組ませる。</p>	<p>・友達の動きを見て課題を見つけ、正しい動きを身に付ける工夫を、友達と伝え合うことができるようにする。</p> <p>・児童がタブレットで動画を撮り、課題解決のためにグループで良いところや改善点を考え、友達に伝えることができるようにする。</p>	<p>・運動にすすんで取り組むことができるように、ペアやグループを組み、友達の動きを真似できるような環境をつくる。また、自己の能力に適した場で取り組めるよう、いろいろな難易度の場を設定する。</p>

#### （3）高学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>・陸上運動では、正しい動きやルールを理解し、自己の記録の伸びや目標の達成を目指すことができるよう、いろいろな距離のリレーや、いろいろな高さのあるハードル等を設定して取り組ませる。</p>	<p>・自己や友達の課題を見付け、正しい動きを身に付けるために友達と交流したり、自分だけではなく、友達の考えたことも伝えたりできるようにする。</p> <p>・児童がタブレットで動画を撮り、動きのポイントと自己や仲間の動きを照らし合わせ、技のできばえや課題を確認することができるようにする。</p>	<p>・運動に積極的に取り組むことができるように、運動の記録をとったり、わずかな変化を称賛したりして、自己の体の動きの高まりに気付かせる。また、自分たちで場や用具を考えさせて運動に取り組ませる。</p>